

「多摩川水系河川整備計画【大臣管理区間編】(変更原案)」に対する公聴会

日 時：令和7年8月4日（月）15：30～15：50

場 所：立川女性総合センター 5階 第3学習室

発言者：公述人1

よろしくお願ひいたします。私の方は、資料はないのですけども。

今、環境定量目標ということで、ご説明を聞かせていただいたのですが、私、実際、ちょっと釣り人の視点で、今日お話しさせていただきたいなと思ってここにお邪魔させていただきました。

今、私、青梅市に住んでおりまして、漁協の活動にも一部関わっている部分もあるのですが、東京都さんとのお話の中で、例えば江戸前アユみたいな言葉がさっきの資料にも出ていたかと思うんですけども、現実的になかなか遡上が青梅市の上流部まで来ない、で活動としては例えば、下流部でのアユをわざわざ汲み上げて、上流部に持っていくみたいなこともやっていますが、やはり現実問題として見る限り、私が知っている限りのことで言うと、やっぱり羽村の堰のところの問題が多いかなと。

色々私もそんな知識のあるものじゃないですが、色々関係者に聞くと、水を取られて、要は魚道に水が上がらないから、アユが溜まっているとか。台風とかで一定量の水がくると、上流まで多少上がるという話を聞いたりするのですけども、何が言いたいかというと、魚道の整備は1992年から行っているということだったのですけども、結果的に魚が上がらない現実というのがありまして、そこを今回、最後のページで説明もありましたけれど、魚道整備についても何か実際は計画があるようなお話はされましたけども、具体的に実際どうするのかというあたりをお示しいただければというか、今日は無理なのでしょうけども、今後どういう形でなのか、我々に公開してもらいたいなというところです。

さらに今、魚道をつくっているからには、わざわざここで言う必要もないでしようけど、実際に魚が上がっているのか、上がってないのかっていう調査をどれほどやっていて、何が障害なのかなっていうのを実際問題把握できているのかっていうあたりもちょっと、生意気な口ですけども、お伺いしたかったなどというところではあるのですけども、今後の、今日ご説明があったようにアユの遡上に関しては資料もありましたので、そこについては期待をするというか、というところを、思っておる次第でございます。また、こちらが国、東京都とか水道局も関係あるのですかね、取水、羽村の堰の水道で水取られると結局魚が上がれないで、そういう関係各所ともぜひ、連携していただいて、事業を進めていただければなというふうに思っておる次第でございます。

簡単ですけど、こんなところでよろしくお願ひいたします。以上でございます。